

**製品名: ARHG4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07116**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	75kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARHGEF4 KIAA1112
別名	
遺伝子 ID	50649.0
SwissProt ID	Q9NR80
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 270~350

**背景**

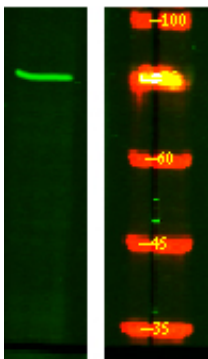
Rho GTPase は、G タンパク質共役受容体を介して作用する細胞外刺激によって開始される多くの細胞プロセスにおいて基本的な役割を果たします。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質と複合体を形成し、Rho 依存性シグナルを刺激する可

能性があります。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっていますが、一部のバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2013年6月]、機能: RhoA および RAC1 GTPase のグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) として機能します。APC の結合は RAC1 GEF 活性を活性化する可能性があります。APC-ARHGEF4 複合体は、細胞の移動だけでなく、E カドヘリンを介した細胞間接着にも関与していると考えられる。、配列注意: 翻訳により N 末端が延長されている。、類似性: DH (DBL 相同) ドメインを 1 つ含む。、類似性: PH ドメインを 1 つ含む。、類似性: SH3 ドメインを 1 つ含む。、細胞内局在: 膜ラッフルと関連している。、サブユニット: アイソフォーム 3 は RHOA および RAC1 と相互作用し、N 末端を介して APC と相互作用する。ARHGEF4、APC、CTNNB1 からなる複合体に存在する。、組織特異性: 脳、腎臓、肺、筋肉で低レベルで発現している。、

## 研究分野

アクチンと細胞骨格を調節します。

## 画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。